平成30年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年3月9日

上場会社名　ロングライフホールディング株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4355　URL http://www.longlife-holding.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 遠藤 正一
問合せ先責任者　(役職名) 常務取締役管理本部長　(氏名) 瀧村 明泰　TEL 06-6373-9191
四半期報告書提出予定日　平成30年3月12日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年10月期第1四半期の連結業績 (平成29年11月1日～平成30年1月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年10月期第1四半期	3,166	9.3	105	4.8	△87	―	△137	―
29年10月期第1四半期	2,897	―	100	―	75	208.5	△25	―

(注) 包括利益　30年10月期第1四半期　△146百万円　(―%)　29年10月期第1四半期　△24百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年10月期第1四半期	△13.44	―
29年10月期第1四半期	△2.44	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年10月期第1四半期	15,863	3,102	19.6	303.16
29年10月期	15,168	3,332	22.0	325.58

(参考) 自己資本　30年10月期第1四半期　3,102百万円　29年10月期　3,332百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年10月期	―	0.00	―	8.00	8.00
30年10月期	―				
30年10月期 (予想)		0.00	―	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成30年10月期の連結業績予想 (平成29年11月 1日～平成30年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,000	2.1	200	27.2	20	△85.0	△40	―	△3.91
通期	13,000	5.7	700	38.8	500	7.7	250	7.0	24.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無

新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無

② ①以外の会計方針の変更 ： 無

③ 会計上の見積りの変更 ： 無

④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年10月期1Q	11,190,400 株	29年10月期	11,190,400 株
② 期末自己株式数	30年10月期1Q	955,605 株	29年10月期	955,605 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年10月期1Q	10,234,795 株	29年10月期1Q	10,234,795 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1 本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の基準に基づいており、実際の業績等は様々な原因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）P．3「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2 添付資料P．8「2．四半期連結財務諸表及び主な注記 （3）四半期連結財務諸表に関する注記事項 （追加情報）（表示方法の変更）」に記載の通り、売上高及び営業外収益の組替を行っているため、平成29年10月期第1四半期連結累計期間の売上高及び営業利益の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 8
（会計方針の変更） …… 8
（会計上の見積りの変更） …… 8
（追加情報） …… 8
（重要な後発事象） …… 8
（セグメント情報等） …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

以下の業績の状況、経営成績、財政状態に関する説明については、「２．四半期連結財務諸表及び主な注記（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項　（追加情報）」に記載のとおり、組替後の前第１四半期連結累計期間及び前連結会計年度の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の数値を用いて説明をしております。

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年より引き続き日経平均株価が２万円台を維持し、企業収益もリーマン・ショック前の水準に回復する企業が増加する等改善傾向にあり、緩やかな回復基調が続いております。

介護サービス業界においては、政府が「一億総活躍社会」の実現に向けて介護離職ゼロの方針を掲げ、介護施設の整備・増設対策を打ち出す一方、サービスの担い手である人材の確保について難しい状況が続いております。

当社グループは、次世代の担い手となる人材に対して、多様な働き方や職場環境を提供するため、ワークライフバランスの適正化や研修制度の充実、処遇改善、海外進出等の取り組みを行ってまいりました。

このような状況のもと、当第１四半期連結累計期間の売上高は31億66百万円（前年同期比9.3％増）となりました。また、営業利益は１億５百万円（前年同期比4.8％増）、シンジケートローン組成に係る費用が１億61百万円発生したため経常損失は87百万円（前年同期は75百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は１億37百万円（前年同期は25百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①ホーム介護事業

ホーム介護事業につきましては、当第１四半期連結会計期間末におけるホーム数は21ホームで居室総数は869室となっております。広告宣伝活動等の営業強化により、入居率の引き上げに注力しております。

ホーム介護事業の売上高は10億81百万円（前年同期比2.4％増）、経常損失は17百万円（前年同期は０百万円の経常利益）となりました。

②在宅介護事業

在宅介護事業につきましては、当第１四半期連結会計期間末におけるサービス数は162サービスとなっております。

中部圏への事業展開並びに障がい支援サービス等の介護保険適用外サービス獲得のための活発な営業活動を行っております。

在宅介護事業の売上高は14億97百万円（前年同期比6.2％増）、経常損失は０百万円（前年同期は32百万円の経常利益）となりました。

③福祉用具事業

福祉用具事業につきましては、福祉用具の販売・レンタル、住宅改修の専門企業として、お客様の日常生活の自立を支援するサービスを提供しております。

福祉用具事業の売上高は４億円（前年同期比23.1％増）、経常利益は７百万円（前年同期比44.9％減）となりました。

④フード事業

フード事業につきましては、主に当社が運営する有料老人ホーム等46箇所に食事を提供しております。

オリジナル商品の販売等によるグループ外への営業強化に注力することで、ブランド力の向上に努めてまいります。

フード事業の売上高は23百万円（前年同期比39.9％増）、経常利益は11百万円（前年同期比127.4％増）となりました。

⑤リゾート事業

リゾート事業につきましては、函館及び由布院において、会員制のリゾートホテルの運営を行っております。

現在、石垣島及び箱根に展開するリゾートホテルの開業に向け建設を進めております。

リゾート事業の売上高は64百万円（前年同期比270.6％増）、経常損失は20百万円（前年同期は64百万円の経常損失）となりました。

⑥その他

その他につきましては、調剤薬局事業を行う連結子会社の「ロングライフファーマシー株式会社」、国内外企業への投資事業を行う連結子会社の「ロングライフ国際事業投資株式会社」及び「青島長楽護理用品有限公司」の３社により構成されております。

当セグメントの売上高は99百万円（前年同期比37.6％増）、経常損失は５百万円（前年同期は４百万円の経常利益）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第１四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ６億94百万円増加し、158億63百万円となりました。

流動資産につきましては、前連結会計年度末より５億15百万円増加し、57億82百万円となりました。その主な内訳は、流動資産の現金及び預金が８億15百万円増加し、預け金が２億57百万円、繰延税金資産が38百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定資産につきましては、前連結会計年度末より１億79百万円増加し、100億80百万円となりました。その主な内訳は、投資その他の資産が１億82百万円増加したことによるものであります。

流動負債につきましては、前連結会計年度末より５億58百万円減少し、70億76百万円となりました。その主な内訳は、前受金が１億78百万円、１年内返済予定の長期借入金が１億17百万円、未払法人税等が１億８百万円、賞与引当金が71百万円、買掛金が59百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債につきましては、前連結会計年度末より14億83百万円増加し、56億83百万円となりました。その主な内訳は、長期借入金が14億66百万円増加したことによるものであります。

また、純資産は前連結会計年度末に比べ２億29百万円減少し、31億２百万円となり、自己資本比率は19.6％となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年10月期の業績予想につきましては、平成29年12月８日に公表しました内容に変更はございません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成29年10月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成30年１月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,833,234	2,649,048
受取手形及び売掛金	1,657,895	1,636,491
たな卸資産	60,455	56,141
繰延税金資産	68,446	29,621
預け金	1,400,339	1,143,249
その他	246,794	268,233
流動資産合計	5,267,166	5,782,785
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,131,050	7,134,035
減価償却累計額	△2,704,196	△2,760,798
建物及び構築物（純額）	4,426,854	4,373,237
車両運搬具	16,807	16,807
減価償却累計額	△6,523	△7,696
車両運搬具（純額）	10,283	9,111
工具、器具及び備品	557,452	574,423
減価償却累計額	△402,438	△413,091
工具、器具及び備品（純額）	155,014	161,332
土地	3,299,427	3,299,427
リース資産	329,875	340,413
減価償却累計額	△287,323	△292,637
リース資産（純額）	42,551	47,776
建設仮勘定	1,075,409	1,112,291
有形固定資産合計	9,009,541	9,003,175
無形固定資産		
その他	23,542	27,143
無形固定資産合計	23,542	27,143
投資その他の資産		
投資有価証券	135,003	321,170
差入保証金	560,675	560,986
長期前払費用	52,515	48,373
その他	119,758	119,406
投資その他の資産合計	867,952	1,049,936
固定資産合計	9,901,036	10,080,255
資産合計	15,168,202	15,863,041

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成29年10月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成30年１月31日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	220,181	160,377
短期借入金	170,000	170,000
1年内返済予定の長期借入金	523,015	405,344
リース債務	21,763	22,288
未払金	233,474	244,529
未払費用	592,789	576,682
未払法人税等	118,804	10,108
前受金	5,485,300	5,306,552
賞与引当金	158,645	87,388
契約解除引当金	15,741	11,317
その他	95,970	82,105
流動負債合計	7,635,685	7,076,693
固定負債		
長期借入金	3,958,329	5,425,130
リース債務	22,786	26,623
繰延税金負債	38,396	34,014
退職給付に係る負債	84,547	90,189
資産除去債務	94,502	94,868
その他	1,698	12,724
固定負債合計	4,200,260	5,683,549
負債合計	11,835,945	12,760,243
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
利益剰余金	3,444,423	3,223,997
自己株式	△251,175	△251,175
株主資本合計	3,293,248	3,072,822
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	41,638	31,556
為替換算調整勘定	△2,629	△1,580
その他の包括利益累計額合計	39,008	29,976
純資産合計	3,332,257	3,102,798
負債純資産合計	15,168,202	15,863,041

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成28年11月１日 至　平成29年１月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成29年11月１日 至　平成30年１月31日）
売上高	2,897,000	3,166,359
売上原価	2,220,563	2,474,001
売上総利益	676,437	692,358
販売費及び一般管理費	575,890	586,962
営業利益	100,546	105,395
営業外収益		
受取利息	132	20
受取配当金	448	559
為替差益	34	－
施設利用料収入	228	194
その他	361	1,415
営業外収益合計	1,205	2,190
営業外費用		
支払利息	15,243	19,878
支払手数料	10,457	144,235
租税公課	－	19,722
持分法による投資損失	－	128
その他	1,050	11,098
営業外費用合計	26,750	195,063
経常利益又は経常損失（△）	75,002	△87,477
特別利益		
固定資産売却益	1	－
特別利益合計	1	－
特別損失		
固定資産除却損	163	24
賃貸借契約解約損	－	1,127
特別損失合計	163	1,151
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	74,841	△88,629
法人税、住民税及び事業税	29,318	10,331
法人税等調整額	70,528	38,604
法人税等合計	99,846	48,936
四半期純損失（△）	△25,005	△137,565
親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△25,005	△137,565

（四半期連結包括利益計算書）

（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成28年11月１日 至　平成29年１月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成29年11月１日 至　平成30年１月31日）
四半期純損失（△）	△25,005	△137,565
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	92	△10,081
為替換算調整勘定	－	920
持分法適用会社に対する持分相当額	－	128
その他の包括利益合計	92	△9,032
四半期包括利益	△24,913	△146,597
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△24,913	△146,597
非支配株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

（会計上の見積りの変更）

該当事項はありません。

（追加情報）

（表示方法の変更）

当第１四半期連結会計期間より、従来ホーム介護事業において「営業外収益」に計上していた「受取入居者負担金」を「売上高」に計上することに変更いたしました。

この変更は、事業活動の実態をより適切に表示するために行ったものであります。

この表示方法の変更を反映させるため、前第１四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替を行っております。

（四半期連結損益計算書）

前第１四半期連結累計期間において、四半期連結損益計算書の「営業外収益」に計上していた「受取入居者負担金」４百万円を「売上高」に組み替えた結果、「売上高」、「売上総利益」、「営業利益」が４百万円増加し、「営業外収益」が４百万円減少しております。

（重要な後発事象）

当社の連結子会社である日本ロングライフ株式会社は、下記のとおり有料老人ホームの新設に関して賃貸借契約を締結しております。

１　建物賃貸借の目的

当社の連結子会社である日本ロングライフ株式会社は、首都圏における事業拡大のため、平成31年４月に埼玉県越谷市に首都圏５ヶ所目のホームを開設するにあたり、当該施設の建物に関する賃貸借契約を締結しております。

２　賃借の内容

（１）対象施設の名称	ロングライフ越谷（仮称）
（２）所在地	埼玉県越谷市千間台西３丁目２番15
（３）資産の概要	敷地面積　1,782.49㎡ 建物　　鉄筋コンクリート造　地上５階建
（４）賃借料の総額	4,152百万円（46年７カ月間合計）

３　賃借先の概要

（１）氏名	大和ハウス工業株式会社　埼玉東支社
（２）住所	埼玉県越谷市新越谷２丁目17番10号
（３）上場会社と当該法人の関係	資本関係、人的関係及び取引関係はありません。 また、当社の関連当事者には該当しません。

４　賃借の日程

取締役会決議　　平成30年２月15日
契約締結予定日　　平成30年３月12日
物件引渡予定日　　平成31年４月30日

５　営業活動に及ぼす重要な影響

中長期的な観点において業績向上に資するものと判断しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自　平成28年11月１日 至　平成29年１月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント						その他（注）	合計
	ホーム介護	在宅介護	福祉用具	フード	リゾート	計		
売上高								
外部顧客への売上高	1,055,597	1,409,860	325,043	16,886	17,375	2,824,765	72,235	2,897,000
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	404	12,914	149,550	407	163,276	10,431	173,708
計	1,055,597	1,410,265	337,957	166,437	17,783	2,988,041	82,666	3,070,708
セグメント利益又は損失（△）	469	32,170	13,496	4,943	△64,464	△13,384	4,245	△9,139

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、調剤薬局事業、投資事業を含んでおります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	△13,384
「その他」の区分の利益	4,245
未実現利益の調整額	35
全社損益（注１）	83,956
その他（注２）	150
四半期連結損益計算書の経常利益	75,002

（注）１.全社損益は、当社におけるグループ会社からの経営指導料及びグループ管理に係る費用であります。

２.その他は、主に報告セグメントに帰属しない会社（持株会社である当社）に対する取引高の消去であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自　平成29年11月１日 至　平成30年１月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント						その他（注）	合計
	ホーム介護	在宅介護	福祉用具	フード	リゾート	計		
売上高								
外部顧客への売上高	1,081,186	1,497,535	400,251	23,625	64,395	3,066,994	99,364	3,166,359
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	443	13,162	160,510	314	174,430	4,753	179,184
計	1,081,186	1,497,979	413,413	184,136	64,709	3,241,425	104,118	3,345,544
セグメント利益又は損失（△）	△17,607	△402	7,442	11,241	△20,675	△20,001	△5,682	△25,683

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、調剤薬局事業、投資事業を含んでおります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	△20,001
「その他」の区分の損失（△）	△5,682
未実現利益の調整額	35
全社損益（注１）	△64,456
その他（注２）	2,626
四半期連結損益計算書の経常損失（△）	△87,477

（注）１.全社損益は、当社におけるグループ会社からの経営指導料及びグループ管理に係る費用であります。

２.その他は、主に報告セグメントに帰属しない会社（持株会社である当社）に対する取引高の消去であります。

３.報告セグメントの変更等に関する事項

当第１四半期連結会計期間より、従来ホーム介護事業において「営業外収益」に計上していた「受取入居者負担金」を「売上高」に計上することに変更いたしました。

この変更は、事業活動の実態をより適切に表示するために行ったものであります。

なお、前第１四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の方法に基づき作成しております。

４．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。